

はじめまして

学生時代 英語は嫌いなわけじゃないけど、成績がふるわず、まあ映画や音楽で いっぱい英語を聞いていれば そのうち 少くくは話せるようになる(?)なんて淡い期待を抱いていました。とくに必要もなかったので英会話スクールに行くこともなく、30代を過ごしていました。

きっかけは?

そんな時、神戸に引っ越して来た友人の家で聞こえてきた外国語……。はじめはラジオで外国語講座でもかけているのかなって思っていました。話を聞いてみると、ヒッポのことを教えてくれましたが、その時は正直「どんなことをしている教室なんだろう」という疑問だけでした。誘われて講演会に行くと、メンバーの話すいろいろなことばがすごく自然なのにびっくりしました。また、後日、体験会に行ってみてまたびっくり!子供の頃公園でやったような遊びを大人がやっていたからです。あっ、ここは教室じゃないんだというちょっとしたカルチャーショックでした。



ヒッポに入って...

面白そうなので入会したら、7か国語どころか 今まで聞いたことのないアラビア語、マレーシア語、ポルトガル語、タイ語・・・などをみんなフツーに聴いて話しているのです。まだ、韓流ブームも起きていない頃だったので、韓国語でさえ私には初耳にちかいことばでした。あいさつや自己紹介もメンバーの真似をするだけで、中国語ならこの人の真似、イタリア語なら この女の子(小1)の真似という具合にしていると、いつの間にか私も言えるようになっていました。それだけでも その国に親近感が湧いてくるのが不思議でした。

いつの間にか

世界には多言語を話す人が本当にいるんだと実感したのが、ポーランド人のピアノの先生にレッスンして頂いた時のことでした。ポーランド語は聴いたことがないので、とりあえず英語であいさつしたもののだから、先生は英語でレッスンを始めました。でも、ふと気づくと先生はドイツ語に変わっているのです。私もつられて「ヤー」とか「アッソウ」(日本語の「あーそう」と同じタイミングで使える)と答えていました。実は、どこからドイツ語に変わったのか気づいていませんでした。いつものストーリーCDを聴くように 意味はわからなくても そのことば(ドイツ語)に耳を傾けていられたということは、何か大切なことなんじゃないかって思いました。



たさんの出会い

ヒッポにはいろいろな交流プログラムがあるので、自分が海外に出かけてもいいし、外国から来た社会人や学生さんと会う機会も多いです。食事会したり、お花見に行ったり、お酒を飲んだり・・・日常とつながっていることが楽しく過せるヒミツなんじゃないかと思っています。ホームステイに行くメンバーの準備もみんなで作っていくところがヒッポのおもしろい所だと思います。今夏ドイツに1年間の留学に出かけた高校1年のメンバーといっしょに神戸で私のドイツ語も育っていく予感がします。